

【令和元年9月度番組審議会 議事録】

1. 開催年月日 令和元年9月27日（金） 15時00分～16時00分

2. 開催場所 八尾市立社会福祉会館 2階 第一集会室

3. 委員の出席

番組審議委員総数	5名
出席委員数	5名
欠席委員数	0名

放送事業者	社 長	根木 幸男
	総務部長	比良 純高
	業務部長	鈴木 昌宏
	総 務	村田 季世子
八尾市市政情報課	課長補佐	牧野 晃

4. 議 題 第42回八尾河内音頭まつり特別番組

「夏の締めくくりはやっぱり河内音頭」

5. 番組概要 放送日：2019年9月8日（日） 10：00 ～ 21：00

放送形態：久宝寺緑地特設スタジオからの放送は10：00～20：30まで
（生放送 連続11時間）

番組について

イベント会場（特設スタジオ）からの11時間にわたる公開生放送実施は非常に珍しい。また、河内音頭まつりの特番は開局以来続いているFMちゃおの「夏」の看板番組であり、30名以上のタレント、スタッフが関わる大きな企画で、全国のコミュニティFMでも数少ない企画である。今年度はじめて、現場の技術系を外部委託に切り替えると同時に、放送回線に新しい技術を導入しました。

6. 審議委員からの意見

委員：・11時間の放送でどこに焦点をあてるのかなど難しいところがある。

委員：・映像がなく、耳だけで聞くと雑音が気になった。

・音で楽しめる中学校の吹奏楽部の演奏等がもっと入っているとよかった。

吹奏楽をメインに放送してほしい。癒されると思う。

・インタビューの時、男性には女性、女性には男性がインタビューすることにより区別ができて分かりやすくいいのではないか。

・市長のインタビューの際、話の噛み合っていない部分があった。インタビュー前には打ち合わせが必要だと思う。

委員：・全体像を考えた時に、生放送で力を入れる部分と収録して放送する部分のメリハリをつけて、より効率化・合理化を図ることが必要ではないでしょうか。

- ・市長等要人の方にインタビューする場合はインタビューのやりとりが、その方や
ちやおのイメージを大きく左右することになるので事前にシナリオを作成した方が
安心ではないか。
- ・シャトルバスの運行状況、ごみの分別などの啓発コメントが入っていてよかった。
- ・技術的な面では、冒頭部分の提供紹介の際、喋り手の「さ行」が弱く聞き取りにく
かった。スポンサー紹介は特に大切なのでもう少し気をつけた方がよい。
- ・吹奏楽の演奏などラジオに適していて聞かせどころのあるところを、リアルタイム
でなくても録音でもいいので、しっかり多めに放送してはどうでしょうか。
- ・イベントのメインは踊りですが、放送には向かないので、連の紹介をする時に、事
前に収録しておいた練習の時の様子を放送するなどして関連付けて放送中の合間合
間に挟んでいき、全体としては生放送という形でよいのではないのでしょうか。

委員：・以前の「河内音頭まつり」の特番の際は雑音が気になっていたが、技術的に改良さ
れていて、とても聞きやすくなっているよかったです。

- ・一般の人へインタビューをし、楽しんでいる様子や声を伝えてほしい。市民も参加
できればいいのではないかと。

委員：・11時間生放送するのはすごいと思った。リスナーを増やすという意味では地域の
一大イベントを生放送するというのは必要な事である。リスクもあるが、やりがい
にもなっているのではないかと思う。

- ・冒頭の提供紹介の際は聞こえにくい部分はあったが、会場の雑踏にかき消されない
トーンの高い声で紹介していたところは、聞きやすくてよかったと思う。
- ・とても意義のある放送だと思う。
- ・11時間の生放送ではあるが、11時間生ではない。と考え方を切り替えて、どれ
だけ情報を入れるか、例えば、NHKの高校野球の放送時に入る学校紹介のような感
じで、事前取材した素材を貯めておいて、生放送の中で放送し、尚且つ、何をど
の時間帯で放送するのかを事前に告知することで、よりリスナーを増やすことがで
きる。特に吹奏楽の演奏などは、親御さんは楽しみにしているので。
- ・リスナーを取り込むことを長いスパンで考えてみてもいいのではないのでしょうか。

牧野課長補佐：・市としては、この河内音頭まつりが市の一番大きなイベントであり、また市だけ
ではなくまわりの方々、企業や、市民の皆さんと共にあるイベントある。そのイベン
トをFMちやおが番組として放送しているという事は大変意義のあることだと思う。
・今回ユーチューブで映像配信していたことに関しては、若い世代は映像で入って
くる情報を求めているというところもあるのでラジオと共に映像（ユーチューブ）も
配信していたことはよかったと思う。当日、1400人が視聴していましたし、ユ
ーチューブで配信することにより、また後で見ることもできるので・・・。

本日お聞かせいただいたご意見を受け止め、今後もより良い番組作りに努めて参ります。

7. 公表方法

今回開催された番組審議会内容は、公式HP掲載をはじめ、自社放送内広報および
本社事務所へ閲覧用ファイルを設置いたします。